

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
表題	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px; margin-right: 10px;">1</div> <b>生活保護ケースワーカー事件から学び、生活保護行政の改革にどう取り組むか</b>		
趣旨	<p>昨年起きた、生活保護ケースワーカー（以下Aさん）が遺体遺棄に関与した事件は、3月26日に裁判の判決と、本市の検証委員会報告が出され、1つの区切りを迎えました。今後、検証委員会報告を踏まえて、本市の生活保護行政の改革に全力で取り組み、市民の信頼を回復していかなければなりません。</p>		
事項（質問・提案等）	<p>(先の他の議員への答弁と同じ場合は、「先に〇議員に答弁したとおりである」旨の答弁で、時間短縮をお願いします。)</p> <p>(1) 果たして処分内容は妥当だったのか？ Aさんは、刑事裁判で禁固1年6月、執行猶予3年の有罪判決を受け、自動失職するという社会的制裁を受けましたが、向日市はさらに懲戒解雇というきわめて厳しい対応を行ないました。一方その他の関係者は、一般的な「指導監督責任」のみ。さらに最高責任者の市長、副市長の職務上の責任は全く問われていません。これでは、あの事件はAさん一人の責任となってしまいます。向日市の組織的責任は問わないのですか？</p> <p>(2) 向日市ホームページの訂正要求について Aさんを支援する市民団体から、Aさんの処分を公表した本市ホームページの記載内容に事実に反する記載が複数あるとして、Aさんの名誉回復を図るために、訂正要求が出されています。議会にも対応を求める要望書が出されました。 私も、ホームページの記載内容には指摘の通り明らかな誤りがあり、直ちに正すべきと考えます。どのように対応する考えか。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて 3月26日に公表された検証委員会報告書は、Aさんを孤立させ追い詰めたのは、向日市行政の組織的な対応がなされなかったことにあると、向日市行政の組織的責任を厳しく指摘しています。市長も本会議初日に「市民の信頼回復と再発防止にむけて全力で取り組む」と決意を述べました。</p> <p>①今後どのように取り組むのか、市長の考えをお聞かせ頂きたい。 ②外部の専門家の力を借りて、取り組みの体制をつくる考えはあるか？ ③検証委員会の委員長による講演会やシンポジウムを開くなど、市民に開かれた取り組みを検討頂けないか？ ④議会に対する検証委員会報告書の説明会は、いつ開催するのか？</p>		

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">2</div> <b>新型コロナウイルス感染症対策と市民への緊急支援について</b>			
<p>趣 旨</p> <p>今年4月末から5月15日まで、新型コロナウイルス感染症問題に関する市民意見を募ったところ、149名の方々から貴重なご意見が寄せられました。特に多くの意見が寄せられた課題（学校関係以外）について、本市の考えを問います。</p>			
<p>事 項（質問・提案等）</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染防止にむけた対策</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、たとえ一旦収束しても第二波が必ず来ると言われています。そこで当面の危機回避に留まらず、今後に向けての対策について質問します。</p> <p>① PCR 検査の実施拡大について</p> <p>最も多く寄せられたご意見が「感染への不安」であり、「PCR 検査の実施」でした。PCR 検査の実施拡大の市民の要求に対して、向日市はどうする考えか？</p> <p>② 感染対策物資（マスク・消毒薬等）を医療・介護等従事者へ提供できるよう、備蓄する計画について。</p> <p>③ 災害避難時の感染対策について</p> <p>まもなく豪雨・台風災害の季節です。避難所は三密になります。新型コロナウイルス感染症に対応した避難対策の見直しと市民への周知について</p> <p>(2) 市民への情報提供について</p> <p>① 新型コロナウイルス感染情報の公開について</p> <p>感染情報について、日付と人数等しか公表されず、どのような状況で感染したのかわかりません。情報は京都府が持っており、向日市には情報がないとのことですが、実態がわからないことが市民の不安を高めています。今後改善して頂けないか。</p> <p>② すべての市民が支援から漏れない情報提供について</p> <p>新型コロナウイルス感染症に対する支援情報が、市民に届かなければ役立ちません。市民からは迅速な情報発信を求める声が多数寄せられています。今後の改善策について。</p> <p>(3) 向日市独自の追加の支援について</p> <p>国の支援制度でカバーできない市民、事業者、生活困窮者への支援が必要です。</p> <p>① 今こそ市の財政調整基金を、大胆に、有効に活用すべき時ではないか。</p> <p>② 児童扶養手当受給対象の一人親に対して国の給付に追加した支援が必要ではないか。</p> <p>③ 妊婦への特別給付、および出産支援について</p> <p>4月28日以降に生まれる子どもには、10万円の特別定額給付金も、1万円の子育て支援臨時特別給付金もありません。その落差を埋める、妊婦への特別支援の施策を求めます。</p> <p>④ 国・府の支援制度の対象とならない零細・個人事業者が多数います。困難に直面している市民に対し、向日市独自の支援策を打ち出して頂きたい。</p>			

質問者氏名	杉谷 伸夫	所属会派	会派に属さない議員
<p>表 題</p> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px; margin-right: 10px;">3</div> <b>新型コロナウイルス感染症対策による小中学校の休校問題について</b>			
<p>趣 旨</p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症対策による小中学校の臨時休校について、子どもたちの心と体と学力が一番の心配であるという多くの保護者の声を聞いています。第二波の流行も予想されることから、今後の取り組みに反映させて頂きたい。</p>			
<p>事 項 (質問・提案等)</p> <p>新型コロナウイルス感染症問題について、市民の皆さんからもっとも多くの意見が寄せられたのが、小中学校の休校問題についてでした。</p> <p>&lt;寄せられた代表的な意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一番の気かりは子どもの学校の休校。家の中に閉じこもっていることがほとんどで、ストレス、学力の低下が心配。</li> <li>●子どもの日常がガラリと変わってしまい、毎日の体調・気持ちの維持が難しい。</li> <li>●子どもの学習は課題プリントを配布するのみで、学校は家庭に負担をさせ過ぎだ。</li> <li>●休校等の連絡は、学校からの一方通行で少なかった。子どもと先生のコミュニケーションが無かった。</li> </ul> <p>(1) 臨時休校期間中の学校の役割について</p> <p>3ヶ月におよぶ長期の臨時休校の中で、家庭に閉じ込められた子どもたちと保護者に対し、学校にはもっと積極的な役割が求められていたのではないのでしょうか。いかがお考えでしょうか。学校・教育委員会にとっても突然の休校要請等に振り回され、また初めての経験で大変だったと思いますが、ぜひ検証していただきたい。</p> <p>(2) 感染不安による欠席の子への柔軟な対応・支援について</p> <p>基礎疾患を抱えている子どもや、保護者が妊婦である等、様々な理由で感染の不安をもつ人がいます。新型コロナウイルス感染症に係る理由で休む場合の学校の対応、児童生徒への支援についてお聞きします。</p> <p>(3) IT化、オンライン授業への対応・準備について</p> <p>休校により、在宅でも可能なオンライン授業への対応が、向日市も大変遅れていることがわかりました。今後も第二波の流行による休校の可能性が十分あります。オンライン授業の可能な学校環境整備と、すべての家庭がIT環境を整えることができるよう支援を加速する必要がありますが、どうお考えか。見通しについて伺います。</p> <p>(4) 利用制限中の学童保育の利用料について</p> <p>向日市では、休校期間中の学童保育の利用料(協力金)は、利用制限に従って利用しなかったとしても、1月のうち1日でも利用すれば利用料は一切返金されません。しかし、行政の側から利用制限したのですから、利用制限を行った期間の利用料は返金すべきではないのでしょうか？</p>			